

【H28. 2. 20 理事会承認】

選手強化委員会

ナショナルチーム編成基準要綱（H28年度版）

（目的）

1. この要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下「協会」という。）が、射撃競技の国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成するナショナルチームの基準に関して必要な事項を定めることを目的とする。
2. この要綱はH28年度1年間運用し、運用の結果、見直しを行いH29年度以降の要綱を改めてH28年度に定めることとする。

（用語の定義）

3. この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - （1）「ナショナルチーム」とは日本を代表し、国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成されたチームのことをいう。チームはナショナルコーチ（含むアシスタントナショナルコーチ）、JOC選任コーチングディレクター、ナショナルチーム選手、ナショナルチームスタッフにより構成され、選手強化委員会のもとに設置される。
 - （2）「ナショナルチーム選手」（以下NT選手という）とは、日本を代表する国際的な競技力と人格見識、及び旺盛な向上心を有し、かつ協会から認定を受けたものをいう。
 - （3）NT選手は、以下のカテゴリーに分類される。

<ライフルピストル共通>

AカテゴリーとBカテゴリーに分類される。

Aカテゴリーは、オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ大会で入賞以上の成績を残した場合に即時認定される。QP獲得選手はAカテゴリーとする。

Bカテゴリーは、F基準を1回またはH基準を2回クリアし、その時点でNTランキング5位以内に入っている選手をBカテゴリーとして認定する。

(Fはファイナル、Hはハイパフォーマンスの略)

(注) NTランキングは、海外派遣試合、国内ランキング指定試合（対象試合は後述）の1年間の記録のうち、各選手の上位5つの平均点順に並べたものをいう。

なお、基準点クリア実績は海外記録は1年間、国内記録は6か月間で見える。

Aカテゴリーの任期は指定された年度及びその翌年度の2年間指定される。

Bカテゴリーは基準点数をクリアした段階で即時指定される。9月末、3月末で過去半年間において基準要綱をクリアしている選手を翌半年間のBカテゴリーとする。

当年度でAカテゴリーの期限が満了する選手が競技会に不参加または成績不振の場合

は、翌年度Bカテゴリーで残留する。なお、過去の成績や、将来性を考慮して選手強化委員会が翌年度もAカテゴリーで残留させる場合もある。

なお、ライフル・ピストル共にこの要綱は平成28年4月より適用される。

(4)「ナショナルチームスタッフ」(以下NTスタッフという)とは、理事会により任命される選手強化委員会委員やナショナルチームの技術的サポート、情報戦略サポート等を担当するものをいう。

(編成)

4. ナショナルチームの編成は、上記3で述べたナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NT選手、NTスタッフをもって構成する。

(1) ナショナルチームの編成の年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までの協会活動年度と同じ期間とする。

(2) 選手強化の重点はAカテゴリー、Bカテゴリーの順とする。

(3) 選手の総数はライフル・ピストル各15名以内を限度とする。

(対象種目)

5. ナショナルチームの対象とする競技種目は以下の通りとする。

<ライフル>5種目

(1) 男子

50mライフル3x40、50mライフル伏射、10mエアライフル

(2) 女子

50mライフル3x20、10mエアライフル

<ピストル>5種目

(1) 男子

50mピストル、10mエアピストル、25mラピッドファイアピストル

(2) 女子

25mピストル、10mエアピストル

(選手の選考)

6. NT選手の選考は以下の手順で選手強化委員会にて決定し、理事会へ報告される。

<ライフル>

(1) 選考対象となる試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
- ・第一回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)H28年5月予定
- ・第二回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)H28年7月予定
- ・第三回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)H28年9月予定
- ・全日本選手権(50m、10m)

- ・全日本選抜（50m、10m）

なお国際競技大会等の点数に関しては、予選も本選も対象試合とする。

選考方法

上記の国内試合 5 試合計 8 回の記録ならびに国際競技大会等の 1 年間の記録の内、上位 5 回の記録の平均点順位による順位表（以下NTランキング）を作成し、かつF基準は1回、H基準は2回クリアした選手をNT選手とする。このNT選考は9月末と3月末にNTランキングに基づき実施される。

平均点の整数値が同点の場合は、最近の試合の点数が高い選手が優遇される。

<ピストル>

（1）選考対象試合

- ・協会及びJOCが派遣を行った国際競技大会等
- ・全日本選手権
- ・全日本選抜
- ・全国春夏秋冬ピストル大会（50m、25mは朝霞射場、10mは長瀬射場で開催。50m、25mはダブルマッチに変更する。ただし夏季大会は千葉射場でシングルマッチで行う。）
- ・エアピストルNT選考記録会（長瀬、ダブルマッチ）

なお、国際競技大会等については、予選本選ともに対象試合とする。

（2）選抜方法

上記の国内試合 4 試合の記録ならびに国際競技大会等の 1 年間の記録の内、上位 5 回の記録の平均点順位によるNTランキングを作成し、かつF基準は1回、H基準は2回クリアした選手をNT選手とする。このNT選考は9月末と3月末にNTランキングに基づき実施される。

平均点の整数値が同点の場合は、最近の試合の点数が高い選手が優遇される。

（派遣競技会）

7. 派遣選手の選考については、理事会の承認を受けた本要綱に基づいて選手強化委員会で決定し、理事会に報告する。

協会及びJOCが派遣を行う国際競技大会等の代表選手は原則として、Aカテゴリー選手、次いでBカテゴリー選手をもってあてる。

- （1）オリンピック競技大会への派遣については以下の通りとする

(ア) ライフル・ピストル共に国別出場権 (QP) を獲得した選手が、オリンピック開催年度のNT選手である場合は、その選手を代表候補選手として予定する。最終的には、選手強化委員会が選考し、理事会で決定する。

(イ) 代表選手の出場種目は選手強化委員会がそれを決定し、代表選手名簿とともに理事会に報告する。

(2) その他の国際競技大会派遣については、以下の順に選考する。

(ア) H28年度は以下要領で派遣選手を選考する。

(A) オリンピック出場選手は、協会が派遣を予定している海外試合には全て希望すれば参加できる。

(B) オリンピック出場選手が出場を予定している種目のサブ選手として各種目1名を派遣する。

サブ選手の選定はNTランキングに基づき選定する。

(3) ライフルの派遣対象試合と派遣基準参照記録

・WCリオデジャネイロ大会 (4/13-25 ブラジル)

1/25-2/3 アジアリオ五輪予選大会(インド) までの国内指定試合 6ヶ月以内の成績と H27年2月から1年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・WCミュンヘン大会 (5/19-26 ドイツ)

3/18-20 NT選考記録会(長瀬) までの国内指定試合 6ヶ月以内の成績と H27年4月から1年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・WCバクー大会 (6/20-29 アゼルバイジャン)

5/6-8 NT選考記録会(新潟) までの国内指定試合 6ヶ月以内の成績と H27年5月から1年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

★ナショナルチームランキングは下記試合点数の上位5つを採用する。

<参考>

ナショナルチームランキングの指定試合

国内試合

- ・NT選考記録会
- ・全日本選手権 (50m・10m)
- ・全日本選抜 (50m・10m)

海外試合

JOCならびに協会が派遣する海外試合

試合の日程が月をまたがる場合の月の切り方は、最終試合実施月に合わせることをとする。

基準点数（ライフル）

	3×40M	P60M	AR60M	3×20W	AR40W
F 基準	<u>1174</u> 点	626.2点	<u>626.7</u> 点	584点	<u>416.7</u> 点
H 基準	<u>1169</u> 点	624.0点	<u>624.6</u> 点	<u>582</u> 点	415.1点

（Fはファイナル、Hはハイパフォーマンスの略）

（4）ピストルの派遣対象試合と派遣基準参照記録

・WC リオデジャネイロ大会（4/13-25 ブラジル）

1/25-2/3 アジアリオ五輪予選大会(インド) までの国内指定試合 6 ヶ月以内の成績と H27 年 2 月から 1 年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・WC ミュンヘン大会（5/19-26 ドイツ）

3/12-13 全日本選手権 10m（石巻）までの国内指定試合 6 ヶ月以内の成績と H27 年 4 月から 1 年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

・WC バクー大会（6/20-29 アゼルバイジャン）

4/23-24 春季ピストル大会（10m）までの国内指定試合 6 ヶ月以内の成績と H27 年 5 月から 1 年間の海外派遣試合成績が派遣基準点対象。

海外派遣記録は MGS での派遣も記録として参照する。

★ナショナルチームランキングは下記試合点数の上位 5 つを採用する。

<参考>

ナショナルチームランキングの指定試合

国内試合

- ・全国春夏秋冬ピストル大会
- ・NT 選考記録会
- ・全日本選手権（50m・25m・10m）
- ・全日本選抜（10m）

海外試合

JOC ならびに協会が派遣する海外試合

試合の日程が月をまたがる場合の月の切り方は、最終試合実施月に合わせることをとする。

基準点数（ピストル）

	F P	R F P	A P M	A P W	S P W
F 基準	<u>562</u> 点	<u>582</u> 点	581点	<u>385</u> 点	<u>583</u> 点

H基準 558点 578点 578点 382点 579点

(ナショナルチームのトレーニング計画等)

8. ナショナルチームは、その最終目標をオリンピックでのメダル獲得とする。ナショナルコーチ、JOC専任コーチングディレクター、NTスタッフは長期及び短期の目標を常に掌握し、NT選手は平素から射撃競技の代表としての自覚を持ち、自己練磨に努めるとともに、計画された強化合宿に参加するものとする。
- ・ナショナルチームライフル、ピストル合同合宿を期首と期末の年2回開催する。期首の合宿では、チームビルディング、メンタルトレーニング、アンチドーピングを主体とした研修を行うと共に、個々人の年間の目標設定を行う。この目標は記録され、適宜進捗を選手強化委員会がチェックする。期末の合宿では、年間の振り返りを実施し、来期に向けた取り組み目標を明らかにする。
 - ・期中は、ライフル、ピストル各カテゴリー毎に合宿、訓練を実施する。選手とコーチ陣が合意した目標設定への進捗や課題を個人別に分析して、適切なアドバイスやサポートを実施する。JISS射撃場や長瀬NTCを有効活用し、フィジカルトレーニングや科学的なサポートが実施できる環境整備を行い、選手が射撃技術のコーチングだけでなく多方面からサポートが得られるように改善していく。
 - ・SB弾、AR弾のロット選定や映像分析、動作解析など科学的アプローチで選手の得点向上をサポートしていく。

(ナショナルチーム員の資格停止)

9. 以下の事項に該当するものは、NT選手の資格を停止するものとする。
(一般選手については、NT選考会に参加できないものとする。)
この措置は即時実施される。
- なお、NT選考会への復帰の期限は、別途選手強化委員会で定める。
- (1) 特別な事情なくまたは無断でナショナルチーム合宿を欠席したもの。
 - (2) 選手強化委員会の指導方針に反して故意に反発したもの、もしくはチームの秩序を乱したものの。
 - (3) ナショナルチームの目的に反する行動を意図的に取り、選手強化委員会の是正の求めに応じないもの。
 - (4) ドーピング防止規程に違反し競技者資格を停止されたもの。
 - (5) ドーピング防止規程に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされているもの。

(ランキング)

10. ランキングは以下の考え方で集計し協会ホームページに公表する。
1年間ローリングでランキング対象試合の記録を集計し、ベスト3の平均値順で発表する。
注：これは一般射手も含めたランキングであって、ライフルNTのNTランキングではない。

付則

1. この要綱は2016年4月1日から実施される。